



1.《星の海》2016年（兵庫県立美術館での展示プラン） ©Susumu Shingu

# 新宮 晋の宇宙船

## SPACESHIP Susumu Shingu

### 本展のみどころ

- ・風や水など自然のエネルギーで動く彫刻で世界的に知られる新宮 晋の今までで最大規模の個展です。
- ・エレベーターホールや屋外など、展示室以外にも作品を設置します。安藤忠雄の建築空間との響き合いは必見です。
- ・ほぼ全ての作品が、今回の展覧会のために制作された新作です。
- ・全ての作品が風や水の力で動きます。動きの美しさや、面白さに加え、足元にある作品が少ないので小さなお子様との鑑賞にもおすすめです。
- ・美術館の空間全体をひとつの「宇宙船」と捉え、地球のさまざまな場所を旅するかのよう巡っていただく展覧会です。

## 開催趣旨

兵庫県三田市にアトリエを構える新宮 晋（1937ー）は、風や水など自然の力で動く作品で世界的に知られる芸術家です。

幼い頃から絵や工作が得意だった新宮は、東京藝術大学で油絵を学んでいましたが、卒業後に渡ったイタリアで、風で動く作品の魅力に気づき、自然エネルギーにより動く立体作品の制作を始めました。帰国翌年の1967（昭和42）年に日比谷公園で開催した個展で注目され、1970（昭和45）年の大阪万博では出品作家のひとりに選ばれます。以後、世界各地の室内外の公共空間に作品設置を続け、その数は160点に上ります。特に、1994（平成6）年、建築家レンゾ・ピアノが設計した関西国際空港ターミナルビルに設置された作品は、循環する空気の流れを美しく見せ、建築と彫刻が響き合う好例として高く評価されました。兵庫県内でも、JR神戸駅前の《海からのたより》や三田市の青野ダム公園の《水の木》等、多くの新宮彫刻を目にすることができます。近年では、兵庫県立有馬富士公園に「新宮 晋 風のミュージアム」がオープンし、人々が自然の中で憩いながら彫刻を楽しむことが出来るようにもなりました。

一方、新宮は、こうした制作と並行して、ヨーロッパとアメリカの諸都市を回る野外彫刻展「ウインドサーカス」や、作品設置を通して世界各地の先住民と交流する「ウインドキャラバン」等のアートプロジェクトを精力的に展開し、自然の素晴らしさと、人間と自然の関係を問うてきました。既存の枠に収まらないこうした活動は高く評価され、現在も世界を舞台に活躍を続けています。

本展では、自然に恵まれた地球を「奇跡の星」と考える新宮が、展示会の空間全体をひとつの「宇宙船」と捉え、新作を中心とする約15点を出品します。安藤忠雄による建築空間とのコラボレーションが見所のひとつとなるでしょう。さらに、これまで各地で開催されてきたプロジェクトの映像や、子どもたちに人気の絵本、彫刻の模型、自然の力で自立する未来の村「ブリージング・アース」のプランなどを加え、新宮の世界を総合的に紹介します。風や水の力により複雑で心地よい動きを見せる作品を通して、地球の力を感じ、自然が持つ魅力に改めて目を向けるきっかけとなれば幸いです。

新宮 晋の宇宙船

SPACESHIP Susumu Shingu

## 開催情報

会期 2017年3月18日（土）～5月7日（日）

休館日 月曜日（3月20日〔月・祝〕は開館、翌3月21日〔火〕休館）

開館時間

午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）、入場は閉館の30分前まで

主催 兵庫県立美術館、神戸新聞社



企画協力 SDアート

後援

公益財団法人 伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、三田市、三田市教育委員会、サンテレビジョン、ラジオ関西

助成 一般財団法人 安藤忠雄文化財団

特別協力 神姫バス株式会社



平成28年度 文化庁

文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

観覧料

	当日	特別割引・団体
一般	1,300円	1,100円
大学生	900円	700円
中学生以下無料		

※特別割引は一般・大学生のみ。

※主なチケット販売場所：チケットぴあ（Pコード：768-095）、ローソン（Lコード：54529）、セブンイレブン、イープラス、CNプレイガイドほか京阪神のプレイガイド。

※高校生、高齢者、障がいのある方には割引制度がございます。詳細は美術館へお問い合わせください。

※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参の上、会期中美術館窓口で観覧券をお買い求めください。

※県美プレミアムの観覧には別途観覧料金が必要です（本展とあわせて観覧される場合には割引あり）。

作家からのメッセージ



©Susumu Shingu

「無限に広がる宇宙に存在する数えきれない星の中でも、色彩豊かで、様々な光や音が響き合う、とびっきりユニークな星、地球に、一人の人間としてボクは生まれた。これはどう考えても、奇跡としか言いようがない。」

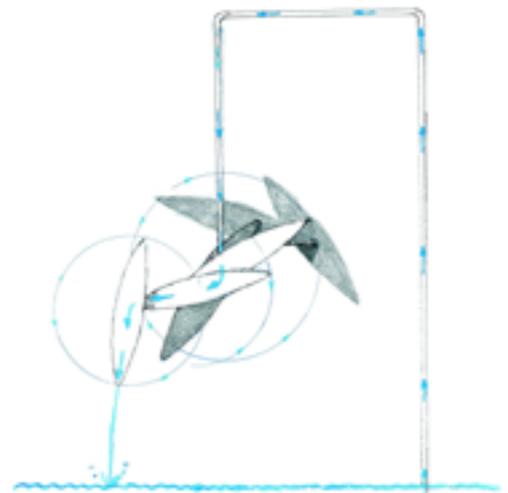
「ボクは、アート力を信じている。アートには、政治にも経済にもない、心から心へ直接伝わる特別な力があると思う。ボクは、この星に生まれてきた幸せを、1人でも多くの人に伝えるために、ものを創る。」

新宮晋「この星に生まれて」(本展図録所収)より

作品介绍



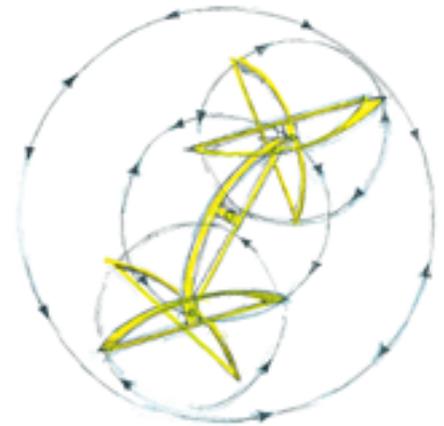
2. 《小さな惑星》2016年 ©Susumu Shingu



参考図版 《小さな惑星》構想画 ©Susumu Shingu



3. 《雲の日記》2016年 ©Susumu Shingu



参考図版 《雲の日記》構想画 ©Susumu Shingu



4. 《星空》2013年 ©Susumu Shingu



参考図版 「ウインドキャラバン・モロッコ」2001年 モロッコ タムダハト  
©Susumu Shingu

## ウインドキャラバン WIND CARAVAN

2000年6月～2001年12月

「ウインドキャラバン／地球観測の旅」は、新宮晋の風で動く彫刻を一年半かけて地球上のもっとも特異な自然空間6ヶ所に巡回し、アートやそれらの地の人々との文化交流を通して、自然とともに生きるとはどのようなことか、さらに本当の幸せとは何かを見つける試みです。

<http://wind-caravan.org>



5. 《呼吸する大地》構想図 ©Susumu Shingu

## ブリージング・アース Breathing Earth

2009年5月～

「ブリージング・アース／呼吸する大地」は、風や太陽の自然エネルギーだけで自活する村です。自然エネルギーで動く作品を長年作り続けてきた新宮晋が、地球上のどこかに実現しようと企画されています。詳しくは会期中に上映するドキュメンタリー映画をご覧ください。

## 作家略歴

### 新宮 晋 (しんぐう・すすむ)

1937年大阪府生まれ。東京藝術大学絵画科卒業後、イタリア政府奨学生として1960年に渡伊。ローマ国立美術学校にてフランコ・ジェンティリーニに師事し絵画を学ぶ。ローマ滞在中に鉄線のフレームにキャンバスを縫い付けた立体作品を発表。帰国の翌年、1967年に東京の日比谷公園で開催した個展「風の造形」で注目を集め、大阪万博(1970)への出品作家に選出される。1971年にはハーバード大学視覚芸術センターより客員芸術家として招聘される。以後、一貫して風や水などの自然エネルギーで動くサイト・スペシフィックな彫刻を制作し、国内外の各所に設置。レンゾ・ピアノをはじめとする建築家とのコラボレーションも手掛ける。恒久設置の作品制作と並行し、「ウインドサーカス」(1987～90)、「ウインドキャラバン」(2000～01)など多くのプロジェクトやワークショップも世界各地で展開。また、『いちご』(文化出版局、1975)をはじめとする絵本の制作や演劇の企画・演出など、彫刻の世界に止まらない多彩な活動を繰り広げている。2014年、兵庫県立有馬富士公園に12点の作品を常設する野外美術館「新宮 晋 風のミュージアム」がオープン。現在は2009年に開始したプロジェクト「ブリージング・アース」の実現に向け活動中。自然エネルギーのみで自立する新たな共同体の創生を目指すこのプロジェクトへの取り組みは、ドキュメンタリー映画「ブリージング・アース：新宮晋の夢」(監督：トーマス・リーデルスハイマー、2012)に収められている。第4回吉田五十八賞(1979)、第18回日本芸術大賞(1986)、第43回毎日芸術賞特別賞(2002)、第20回現代日本彫刻展大賞(2003)、第4回円空大賞(2007)など受賞多数。兵庫県三田市在住。



参考図版 「新宮 晋 風のミュージアム」  
兵庫県立有馬富士公園 ©Susumu Shingu

### 新宮 晋 風のミュージアム

Susumu Shingu WIND MUSEUM

2014年6月21日オープン

「新宮 晋 風のミュージアム」は、新宮から兵庫県に寄贈された「里山風車」と風で動く12点の彫刻を屋外に常設展示している野外ミュージアムです。それぞれが風を受けて優雅に舞い、目には見えない自然のリズムを感じさせてくれます。

「風のミュージアム」では、2015年5月より、新宮 晋が代表を務める風ミュ実行委員会が企画する、年2回の野外公演が開催されています。2017年度は、4月28日(金)に「風の能」を開催する予定です。

詳しくは下記までお問い合わせください。

## 神姫バスツアーズ株式会社主催 展覧会関連ツアー

兵庫県立美術館と「新宮 晋 風のミュージアム」でアートな旅  
日程：4月1日(土)、2日(日)、15日(土)、16日(日)、29日(土・祝)、  
5月3日(水・祝)  
料金：大人6,800円、小学生以下6,300円  
(学芸員による解説、観覧料、特製弁当付き)  
問合先：神姫バスツアーズ株式会社 tel.0570-0570-11 (10:00-18:30)



兵庫県立有馬富士公園 休養ゾーン

お問合せ：風ミュ実行委員会

Tel. 079-568-3764

<http://windmuseum.jp>

<https://www.facebook.com/windmuseum/>



## 関連イベント

アーティストトーク「この星に生まれて」

講師：新宮 晋（アーティスト）

3月19日（日）14:00～（約90分）

ミュージアムホール（定員250名）

聴講無料（要観覧券）

記念講演会「芸術の力（仮）」

講師：安藤忠雄（建築家）

3月26日（日）13:00～（約60分）

ミュージアムホール（定員250名）

聴講無料（要事前申込・先着順、要観覧券）

申込方法：メール本文に①氏名（ふりがな）、②電話番号を明記の上、  
ando@artm.pref.hyogo.jpまでお申し込み下さい。

締切り：3月12日（日）

こどものイベント「凧をつくろう」

5月5日（金・祝）10:30～15:30

講師：新宮 晋（アーティスト）

定員30名

要事前申込・要参加費

問合せ先：こどものイベント係 tel.078-262-0908

未就学児のための鑑賞会「いちごツアー」

3月29日（水）、4月13日（木）、4月22日（土）

各日10:30～（約30分）

定員5家族程度

要事前申込・参加無料（要観覧券）

問合せ先：こどものイベント係 tel.078-262-0908

映画上映会「ブリージング・アース：新宮 晋の夢」

トーマス・リーデルスハイマー監督（2012年／93分）

3月25日（土）18:00～19:33

4月22日（土）18:00～19:33

4月23日（日）14:00～15:33

ミュージアムホール（定員250名）

視聴無料（要観覧券、上映の30分前に開場）

ミュージアム・ボランティアによる解説会

毎週日曜日11:00～（約15分）

レクチャールーム（定員100名）

聴講無料

## お問い合わせ先

兵庫県立美術館 <http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

Tel: 078-262-0901（代表） Fax: 078-262-0903

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

Tel: 078-262-0905（グループ直通） Fax: 078-262-0903

展示内容に関すること

担当学芸員：遊免寛子、江上ゆか

e-mail: yuumenn@artm.pref.hyogo.jp

Tel: 078-262-0909 Fax: 078-262-0913

## 広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

### 【同時開催の展覧会】

県美プレミアム

[特集]アウト・オブ・リアル（仮称）

4月1日（土）～6月25日（日）

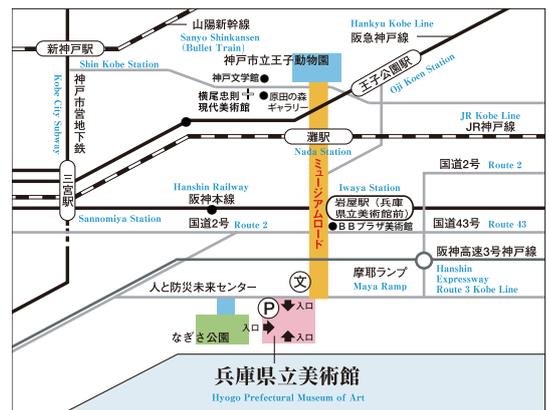
横尾忠則現代美術館

開館5周年記念展 ヨコオ・ワールド・ツアー（仮称）

4月15日（土）～8月20日（日）

### 【交通案内】

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
  - ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
  - ・阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
  - ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）・阪神バス（HAT神戸行き）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
  - ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。  
※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いいたします。



特別展 新宮 晋の宇宙船

2017年3月18日(土)～5月7日(日)

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年 など
1	《星の海》2016年(兵庫県立美術館での展示プラン) ©Susumu Shingu
2	《小さな惑星》2016年 ©Susumu Shingu
3	《雲の日記》2016年 ©Susumu Shingu
4	《星空》2013年 ©Susumu Shingu
5	《呼吸する大地》構想図 ©Susumu Shingu

- ※上記作品画像を媒体掲載される際には、記載の**作家名・作品名・制作年**などを必ず入れてください。
- ※作品画像は**全図で使用**してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。
- ※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。(会期終了まで)
- ※再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- ※Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。
- ※基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で営業・広報グループまでお送り願います。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット	『	』
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日		画像到着 希望日	
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大5組10名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限り)		組	名分希望

- ※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、**掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)、URL**などを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。
- ※展覧会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。